

## ビジネスシーン別・手土産の選び方(第2回)

### 相手のプライドをくすぐる「お茶」

2015.08.14

どうしても成約をとりつけない取引先の担当が、なにかとこだわりがありそうな女性だった場合、あなたならどんな手土産を持っていくでしょうか？ 有名洋菓子店のショコラ、老舗の和菓子、逆に意表をついて焼きたてのたい焼き……。

まるで、手土産で仕事のセンスも測られているようで、下手なものを持っていったらその後の関係にも影響を及ぼしかねない緊張感があります。だったら、最近流行りの中国茶はどうでしょう？ しかも、中国本土でも台湾でもなく、ニュージーランド産のオーガニックティーとすれば、きっと興味津々、話が弾むに違いありません。

#### 世界一ピュアなオーガニック・ウーロンティー

「Zealong」は北島・ワイカト地方にある、ニュージーランド初のウーロン茶園です。オークランドから南に車で1時間ほどのところにあり、近隣にはニュージーランド第4の都市ハミルトンやホビット村のロケ地などもあります。

化学的に合成された農薬や肥料を一切使用せずに育てられた「Zealong」のオーガニック・ウーロンティーは、ISO 22000 と HACCPの認証を取得。台湾高山茶と同じ製法で作られ、上質なものを手摘みで収穫しています。トレーサビリティも万全で、パッケージを見れば茶葉を摘んだ年月日と農園内のエリアまで特定することができるそうです。



左から「PLAIN」「LIGHT ROAST」「DEEP ROAST」。いずれも 25 g 2160 円(税込)

ニュージーランド政府が国賓への贈答品に用いたり、お茶の本場台湾のデパートにも専門店を展開するなど、その価値は今や世界でも折り紙付きです。日本にはまだ店舗がないため、新宿・伊勢丹で注文して取り寄せてもらうか、取扱商社のウェブショップで購入するしかありません。「手間をかけた確かなものを、大切なあなたに贈ります」という絶好のアピールになります。

「この手土産の価値をわかってくれるのは、センスの良いあなただから」… 続きを読む